



# 認知症介護イノベーション コンソシアム CHIBA

令和4年度  
基礎調査委員会 活動報告  
委員長 諏訪さゆり

- ・介護現場ヒヤリングによるニーズ調査
  - ・介護現場の服薬・排泄に関する  
インシデント・ヒヤリハットに関する分析
- 
- ・新型コロナウイルス感染防止を第一優先し、実施を断念
  - ・令和3年度より令和4年度のコロナ対応のほうが、現場は苦しい状況という声が多数

## ■企業対象の教育活動

認知症の人の自律と自立を尊重する認知症介護に関する企業向け教材の開発・販売

## ■介護者対象の教育活動

認知症の人の介護スタッフや家族介護者を対象とした教材の開発・販売

- 動画コンテンツの作成 3編（各10～15分程度）
  - ✓認知機能障害と認知症の人の思いの理解
  - ✓認知症の人の日記に綴られていた思い
  - ✓認知症の人の家族の思いの理解

## 遂行機能障害（実行機能障害）

- 目的・目標を決めて、それが実現できるように、順序だてて実施する、将来の計画をたてて実行できるようにするなどが難しくなる
- 段取りをつけて、成し遂げることが難しい
- 次に何をしたらよいのか自分ではわからない



・次は何をどうしたらよいのか、わからない、わからない。どうしたらよいのだろう??? ずっとこままでいるしかないのか・・・。  
次に行くことを誰か教えて・・・。

・抑うつ状態と間違われやすいです。

# 社会的認知の障害

- 相手や周囲の状況を認識して、それに適した行動をとることができない。脱抑制

具体例：

- ◆商品を手に取り、そのまま持ち去る、廊下に唾を吐くなど、してはいけない行動とわかっているにもかかわらず、抑えることができない
- ◆相手への怒りが強く、許すことができない

## 認知機能障害から影響を受ける認知症の人の思いと行動

- 自信を持ってない
- うまくいかない
- 物事がうまく進んでいかない
- 危険を感じる
- 一人、取り残されているようだ

でも、自分で  
何とか  
対処したい!!

認知症の人の自律（自分で決める）と自立（自分で行う）  
を支援することが重要!!

# 認知症高齢者の日記に綴られていた思い

年齢	自分が認知症であることや老いについて	家族やインフォーマル・サポート（地域住民）について	ケア専門職者について
99	<ul style="list-style-type: none"> <li>今日の昼のことはもう忘れてる</li> <li>朝か晩かわからなくなっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のおろかさを他人に見せない</li> <li>軽視される</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝私を援助する係の女子が朝早くから来る。私としては頼んでないので迷惑だが仕方ない。金があることだからCさんだけで十分である</li> </ul>
100	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分でも自分がわからなくなった、これがぼけと言うのか</li> <li>自分のたしかな年がわからない</li> <li>困るがどうしてよいかわからない</li> <li>しっかりした人間になりたい</li> <li>反省すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お嫁さんに迷惑をかけるけど申し訳ない。すみません、よろしく願い致します</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰が取ったか大体わかる、今からうちはCさんだけ家政してもらって他の人には頼まないこと</li> </ul>
101	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分を見失う…日記に本当のことを書き、衰えいく自分を確かめ気をつけることが大切</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>私は高齢者でもう何も出来ないから長男夫婦の家の者としてお世話にさせていただきませす</li> <li>人から見下げられている感じがする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日記にかつてに書いてある（あきれる）</li> <li>知らん人です こんな人は断る</li> <li>はたらきにきた人か何かわからない。毎日来て自分勝手に上がりこんでこまる</li> <li>親しい人？</li> </ul>
102	<ul style="list-style-type: none"> <li>いくつになったら人並みの人間になれるのか</li> <li>これはなんですか、言葉がわからない</li> <li>自分のことを書きたくないばかばかしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>こまる時は自分がしっかりして自分を反省して自分をたより子供をたよること、子供や外の人にたすけてもらうこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>かせいしてくださる方をよく知り感謝して家政していただく。まず感謝そこに綺麗な言葉が生まれる</li> <li>家政して下さる方がお手伝いをしてくれる…其の人達の良い所を教えてもらう事</li> <li>感謝すればしげんに礼ぎもうまれる。本当に感謝すれば字もきれいになる</li> </ul>

# 認知症の人が陰性感情を抱いていた 家族・インフォーマルサポート（地域住民など）や在宅ケア専門職 を受け入れるプロセス

認知機能障害の自覚  
と苦悩

認知機能障害による  
困難に自分で対処し、  
困難を他人に知ら  
れないようにする

日々、大奮し、自身  
を律する

自分の対処に限界を感じ、  
まず家族へ頼ることで折り  
合いをつける

専門職者を支援者として受  
け入れることができず、専  
門職者に対して好ましくな  
い評価をしている自分につ  
いても疑問を感じている

認知機能障害による困難に  
自身が対処できないことに  
直面するようになって、  
専門職者の存在に気づき、  
ケアを受け入れる

自律・自立を目指す

自分だけでは困難に対処できないことについて、  
家族やケア専門職のケアを受け入れる



# 認知症高齢者の家族介護の発展過程

認知症の人の家族の思いの理解

## 第1段階

認知症の症状に気づき  
敬対的介護をする段階

## 第2段階

高齢者が認知症であることを認識し、  
認知症高齢者に対して敬対的ではなくなる段階

## 第3段階

認知症高齢者に期待をつなく段階

## 第4段階

認知症をあきらめて、  
放任する段階

## 第5段階

認知症高齢者との関係性を認識する段階

## 第6段階

認知症高齢者の非言語的サインを手掛かりとして察し、  
思いやる段階

## 第7段階

認知症に障害されない本人の側面を見出す段階



夫：いつも妻のことを察しながら介護しています

The husband's speech bubble says, '夫：いつも妻のことを察しながら介護しています' (Husband: I always take care of my wife while observing her). The word '察し' (observing) is underlined.



認知症介護イノベーション  
コンソシアム  
CHIBA

# 令和5年度 基礎調査委員会 活動計画

---

委員長 諏訪さゆり

# 令和5年度の計画内容

- 介護現場のニーズヒヤリング調査（1～2施設）
- 服薬、排泄に関する介護現場事故（インシデント、ヒヤリハットに関する報告書記載内容）分析
- 認知症の人の自律と自立を尊重する認知症介護に関する企業向けの教材の開発、販売（3コンテンツ）
- テクノロジーの利用による認知症の人の自律と自立を尊重する介護実践の普及を目指して、介護スタッフや家族介護者を対象とした教材の検討と開発、販売（1コンテンツ）

ありがとうございました  
令和5年度もよろしく申し上げます

- インタビューを依頼したい施設、事業所やインタビュー内容等がありましたら、お知らせください。